

	第10回石川町振興計画審議会
	日時 平成20年11月7日(金)
	午後7時から
	場所 石川町役場本庁舎 第一会議室
	出席者
	石川町振興計画審議会委員
	西川会長 渡邊副会長 相楽委員 水野委員 野崎委員 瀬谷委員 深谷委員 添田(好)委員 添田(一)委員 齊藤委員 山口委員 添田委員 鈴木委員 (欠席:吉田委員 酒井委員)
	町執行部
	加納町長 矢内副町長 高原教育長 伊藤総務課長 瀬谷企画調整課長 芳賀税務課長 遠藤保健福祉課長 三瓶産業振興課長兼農業委員会事務局長 熊田都市建設課長兼水道事業所長 丹内会計管理者兼室長 矢内議会事務局長
	1. 開会 (瀬谷企画調整課長)
	2. 答申 (西川石川町振興計画審議会議長から加納石川町長へ)
	石川町第5次総合計画(案)について(答申)
	平成20年10月8日付け20企第360号で当審議会に諮問のありました「石川町第5次総合計画(案)」について、石川町振興計画審議会条例第2条の規定に基づき、慎重に審議を行なった結果、基本構想で定められた将来像やまちづくりの理念及び基本目標については、おおむね妥当と認めます。
	なお、本計画の推進にあたっては、下記意見及び分野別意見に留意し、自立した行財政運営と本町の特色を活かした施策の展開により、住みたくなる町、住んでよかったと思える「石川町」となるよう全力で取り組まれることを強く要望いたします。
	3. 会長あいさつ及び答申内容説明(西川会長)
	審議会委員は町を心から愛し、日頃からまちづくりに積極参加されている方だけに、すべての会議で忌憚のない建設的な意見をいただきました。時には難しい課題故に委員同士、異なる意見を戦わすこともございました。
	今回、答申いたしました内容は審議会として十分に議論を尽くしたものです。また、町発展への町民の切なる願いを多聞に反映したものになったのでは、と、このように思っております。

	<p>町当局にはこの思いに御拝意頂き、誠心誠意、全力で取り組まれることをお願いいたします。</p>
	<p>これまでの総合計画では理念が抽象的、観念的なものでした。今回の第5次総合計画は、「協働」「循環」という、まちづくりの具体的な有り様が提示されております。循環によるまちづくりには、本町の持つすべての資源を総合的に有機的に結びつけながら、行政各分野を一体的に連関させ、施策を進めていくために、新しい発想で立案、実施されることを要望いたします。</p>
	<p>産業分野では、厳しい経済環境の中で、町民の一番の関心事は、経済的な生活安定の、そのための就労の場の確保です。</p>
	<p>保健・医療の分野では、全国的に医療の崩壊が問題となっています。地域医療の充実のために、町内医療機関及び町外の救急病院、高度医療病院と連携を密にし、他町に先駆けて、全町民の命を守る。命を大切にす町にするべく、努力していただきたいと思っております。</p>
	<p>教育の分野では、時代の趨勢の中で、小学校の統合は避け得ないものであると認識しています。しかし、古くから地域に存在していた小学校には、地域住民にとって心の故郷、自分の原点のような思いを持つ地域コミュニティの核のような存在でもあり、新たなコミュニティの場として各地区公民館をその実施拠点とし、人的・財政的充実を図り、新たなコミュニティの場として、整備されることを要望いたします。</p>
	<p>町内にある二つの高校には、他地区の高校と競合するなかで、学生や父母にとって、他校より魅力のある学校となるよう、行政の支援を要望いたします。</p>
	<p>町民生活の分野では、中心市街地の活性化については、商工振興という一面的な施策ではなく、市街地を福祉・医療・金融・交通・教育等が集積している総合空間と位置付け、多面的な振興策を要望いたします。子どもから高齢者までに優しい、歩いて楽しい市街地形成に努めていただきたいと思います。</p>
	<p>行財政運営についてですが、経済低迷の状況下、より難しい財政運営が予想されますが、すべての面で無駄をなくす努力を要望いたします。そのためには、職員の意識改革を進め、各種審議会、各種委員会の人数、報酬の見直し、行政区の改編などの行政システム、さらには議会システム自体の抜本的な改革の勇気を持っていただきたいと思います。</p>
	<p>庁舎の検討についてですが、現役場庁舎は老朽、分散しており、効率的な事務処理には不向きであることを承知しております。しかし、新庁舎の建設につきましては、国や県の広域的な、地方自治政策の動向を見極めながら慎重に検討されることを要望いたします。</p>

	<p>以上でございますが、添付いたしました意見に留意されながら、基本計画のもと、町民の目線に合った実施計画を策定されることをお願いし、説明を終わります。</p>
	<p>4. 町長あいさつ（加納町長）</p>
	<p>只今、石川町第5次総合計画の答申を頂きました。そしてまた、会長の西川さんから、ご挨拶を頂きました。誠に、私としては、その通りであると、そう思いまして、御礼を兼ねて、只今からご挨拶を申し上げます。</p>
	<p>石川町第5次総合計画の答申にあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。</p>
	<p>只今、石川町第5次総合計画について、振興計画審議会の皆さんから、答申を頂きました。</p>
	<p>委員の皆様には昨年の7月から振興計画審議委員に就任されて以来、長期に渡り精力的に、積極的に審議を頂きましたことに対し、心から感謝を申し上げます。</p>
	<p>本町を取り巻く町行政の環境ではありますが、どこでも言われておりますように、少子高齢化、国の制度改革、交付税等の削減、環境問題等に対して、非常に厳しい状況にはなっております。しかしながら、町民の皆さんが、先程の答申にもございましたけれども、石川町に生まれて良かった。そして、歩いて楽しいまちづくり、住んで良かったまち。そういうことが、言われて当たり前だと感じております。</p>
	<p>そのためにも、本計画に掲げました将来像「みんなが主役 協働と循環のまち」。この実現に向け、今、意見を付けた答申を頂きましたことに対し、私は真摯に受け止め、これからの向こう10年間の石川町づくりに悔いの残らないようにきちんとした考え方で進めてまいりたいと思います。そのためにも、私は今日、役場職員幹部を一堂に会して、審議員の皆さんに伝えるためにも、職員も本気になって、この答申を実現していきたい、こう考えておりますので、ご理解を賜りたいと思います。</p>
	<p>最後になりますけれども、長い期間をかけてご審議いただき、今回の答申まで、本当に御苦労かけました。この皆さんのご意見を無にすることなく、しっかりした気持ちで、これからの石川町町民の視線に立った行財政を進めてまいりますことを御誓い申し上げます。ながら、感謝の意をこめて、あいさつに代えさせていただきたいと思います。</p>
	<p>本当に、皆様方、今日の答申ありがとうございました。</p>
	<p>5. 意見交換</p>
鈴木委員	<p>第5次総合計画の審議会に選ばれて、審議に参加できたことをとてもうれしく思っておりますし、今後の計画の中に自分の思いを少しでも入れていただけることができ、今回は、答申の書類の文言ひとつひとつを今、噛みしめています。</p>
	<p>私は、医療の現場にもいますし、まちづくりにも色々な面で参画させていただいておりますし、町の健康づくりという点にも参画させていただいて、石川に来てもう27年になりますけれども、本当にここに来て良かったと思って、町の各種会議とかに参加させていただいております。</p>

	<p>これからもなるべく町のため、帰ってくる息子たちのために、良い町であって欲しいと願っていますし、それを作っていくためには、自分も力になりたいし、少しでも微力ですが協力していきたいと考えています。ただ一番心配なのは、やはり、医療の問題のこともありますし、空港を病院の建屋とかにしたらどうかなんていう新聞の記事もございましたけれども、福島空港も今、岐路に立っていて、色々な面で石川地方が変わっていく時期の、この大事な時の第5次総合計画ですので、一言一句大切にさせていただいて、町で真剣に努力していただければ本当に嬉しいです。</p>
添田京子委員	<p>私は今まで地元の一員として町に生活してきたんですが、審議会に参加させていただきまして、今まで配布物などもあまり注意して見てこなかったのですが、町の情報に気を付けて目を通すようになりました。これからも町のために協力させていただきます。良い石川町を作りたいと思いますのでよろしく願いいたします。</p>
山口委員	<p>本計画の中の3つのテーマ、「みんなが主役 協働と循環のまち」。町民が主役という言葉に随分、僕も憧れて、これは随分期待ができるな、っていうことで、話していました。</p> <p>審議委員会そのものが、変わったなっていうのは、ひとつは数値目標を入れようということで、おそらくはじめてのことだと思うんですけども、やっぱり、役所というか行政の方でも、本格的にやらなくちゃいけないという意が見えて、審議会としても期待をしているところです。</p> <p>非常に、簡単なようで難しいのが、町民が主役という言葉で、町民の自覚も必要でしょうし、役所のほうの難しさもあるでしょうが、この審議委員会で我々も忌憚のない意見を出させてもらって、すっきりした形で答申できたことを喜んでいます。お世話になりました。</p>
斎藤委員	<p>私も初めて審議委員としてこの会に参加させていただきました。色々なことが思い出されますけれども、皆さんの真剣な意見交換。討論といいますか、いろんなことを皆さんの中から聞きながら、また、視察を2回ほどいたしまして、石川町を客観的に、ほかの地域と比較しながら見てきました。それで私も色々勉強になりましたし、どこでもそうなんだろうが石川町もこれから自立していくということが、ものすごく大変なんだということを実感しながら、この答申の日を迎えられたことをものすごく嬉しく思っております。</p>
添田一文委員	<p>今回、公募で石川町振興計画審議会に参加させていただきました。石川町も非常に財政が厳しいということを聞いておりまして、自分もこのような状況の中で、何か微力ながら活性化して、町が発展していく道はないのかという動機から参加させていただきました。</p> <p>私は農業をしている関係で、農業の置かれている状況が大変であるということを実感しているので、農業も活性化するためにはどんなことが必要なのかということを感じていましたので、色々総合計画をつくる中に農業を入れていただいたということ良かったかなと考えております。</p>

	<p>会長さんを中心に、栄誉ある会議に参加できたことを、良い体験ができたなと感じております。今後も町発展のために微力ながら尽くしていきたいと思っております。</p>
添田好史委員	<p>私も公募にて、審議委員会に参加させていただきました。私は妻の実家があるという関係で石川町にやってまいりまして、まず、ひとつは外から来た人間としての目で参加できるんじゃないかなという点。そして、ふたつめ、普段、地区の子供育成会とか、あるいはスポーツ少年団の活動をしながら、なかなか若いお父さん、お母さんたちが、夜は居るんだけど、普段、石川町自体には居ないという状況。こういう中で、何度か時間を割いて、まちづくりの中で活躍できる人たちを作り出せればと思いつつながら、自分自身がそういう時間を作り出そうと。今、お話しした2点において公募させていただきました。審議委員をさせていただいてありがとうございます。</p> <p>それで、この審議委員会に参加させていただくなかで、非常にいろんな方が石川町で頑張ってるんだな、ということと、その熱い思いに触れさせていただいたということが私にとっての収穫になりましたし、まず、町外に視察に行けたということ、西会津町とか茂木町に行かせていただいて、それぞれみんな元気に、一つのテーマを持って、町全体が励まれているという姿を見て、石川町も明るく活気がある町を作り出すことができるんじゃないかと、感じております。これからも微力ながらこの経験を生かして、なんとか石川町を活かして地域の活動に参加していければと思っております。どうもありがとうございました。</p>
深谷委員	<p>私も公募で応募した訳ですけども、公募した理由は二つあるんです。一つは、日頃、自分が考えていることを町の計画の中にどう反映させることができるだろうか、というのが1点。もうひとつは、私たちの仲間が色々集まって話をしている時に、色々、問題が出てくるわけです。そういう問題を出していきたいという。2点から応募した訳です。</p> <p>毎回出席しながら、かなり言いたいことは言ってきたつもりです。その中で、いつも頭に置いたのは、私たち一般町民から見る目と、それから町長さんが石川町を見る目は、たぶん違うと思うんです。私は色々なものを見たり、石川町を見ていく場合の見方は、おそらくありきたりな、極平凡な見方だと思います。そこで、一体、その石川町の町長さんは、石川町の弱点をどう見ているんだろうか。どこに石川町の弱点を見出してるんだろう。従って、その弱点を補っていくことがやはり町政の発展につながるんじゃないだろうか、という考えにいます。従って、毎回、色々話をするときには、いつも開示しながら自分の考えに対して、町長さんはどう受け止めるのか、という自問自答しながら、発言をまいりました。</p> <p>私もこういう公の場で、色々な方と接する部分は思ったより多くはありませんでした。従って、多くの方々の意見を聞くことで、これをまた地域に持ち帰って、石川町のためになんとか微力を注いでいきたいと考えております。</p> <p>今後ともよろしく願いいたします。</p>
瀬谷委員	<p>いわき石川青年会議所から、今回の審議会に出させていただきます。</p> <p>今回、こういった計画の審議の場に立ち会えたことを光栄に思います。</p> <p>私たちもまちづくり、人づくりということをモットーに活動しているんですが、こう</p>

	<p>いった計画を見せていただきながら審議をさせていただいたことは、自分にとってもこれから活動に対する糧となったと思いますし、これからこういった状況の中で、いかにまちづくり、人づくりをしていくかっていうのが、一番の問題となっていると思いますので、これから微力ですが、まちづくりのほうに協力できるように団体としても頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。今回、参加させていただきましてありがとうございました。</p>
野崎委員	<p>私は文化協会から、今回の審議委員に参加させていただきました。</p> <p>この審議会を通して、私が一番、印象に残ったのは、2回の研修で、西会津町と茂木町に研修に行ってきたんですけども、どちらにも共通することは、町民の方が生き生きとして仕事をなさっているということがとても印象深く思いました。その中で、たくさんの方の事を学びました。それを今後、微力ですけども、町民として積極的に参加をしていきたいと感じました。この計画のこの後の執行をよろしくお願ひします。</p> <p>最後に今日のこの日を迎えられることをうれしく思います。</p>
水野委員	<p>私は農協の組織から参加しました。</p> <p>農協も全体的な地域貢献ということで、いろいろなことから取り組んでおりますけれども、石川町の第5次総合計画についても住民在りきということでありまして、その辺、私の思いも中には織り込んでいただきました。</p> <p>計画は作るの簡単でありますけれども、農産物の産地形成で農林統計事務所の審議会さんが公表したという経過がありますけれども、産地は条件ではなくてやる気が、人間のやる気が産地を作る。ということでございますので、これからの第5次総合計画の実践に向けて頑張ってお願ひしたいと思います。農協も組織のなかで色々な角度から一緒になって、町発展のために尽くしたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。</p>
相楽委員	<p>商工会代表ということで参加させていただきました。大変勉強になりました。</p> <p>私が感じたことは、茂木町に研修に行きまして、副町長さんと隣で食事をしたものですから、色々とお聞きしたのですが、このようになるまで、14年かけましたよと言っておりました。今回、第5次総合計画の答申をしたんですが、今回の計画の中で、公民館を地域づくりの拠点としている計画なんですけども、非常に素晴らしいことだとは思いますが、地域おこしに、やはり公民館の拠点としての在り方が、ポイントになるんじゃないかなと私は思います。</p> <p>近年、非常に人のつながりが希薄になってしましまして、今、福祉ネットワークというものを立ち上げをしておりますけれども、なかなか地域での人の繋がりというのが密になってこない状況下でございますので、このように素晴らしい計画を立てても、町長さんをお先頭にして本当に地域の人たちがやる気を出すというんですか。周りの人たちのことも意識しながら、やる気を出すような、意識の向上をさせるには、なかなか難しいのではないかなと思うんですが、その辺は、先程、会長からの答申にも有りましたように庁内の組織を斬新な改革をしながら、取り組んでいただければいいのかなと思います。</p> <p>商工会のほうも非常に厳しい状況下でございます、会員も年々減少しておりますん</p>

	で、その辺も含めて、職員の活性化というのを考えていきたいと思います。
渡辺副会長	<p>観光産業の立場から審議会に参加させていただきました。</p> <p>私も町の審議委員を何回かさせていただきましたけど、今回の審議会につきましては、9回という会議を重ねまして、あと研修を2回、本当にこの間、審議会の計画に対しての諮問、それから答申の重さというものを実感いたしました。内容的には振興計画そして答申の内容を見ましても、本当に申し分のない理想的な方向性を盛り込んであると思います。これをいかに今後、限られた予算の中で優先順位を付けて、実施計画に盛り込んで、実際に情熱を持って実行していくか、それがこれから問われてくると思います。これからがスタートだということでよろしくお願いいたします。</p> <p>私も一町民として、また仕事柄、招致産業という宿命もありまして、町と運命共同体だということで、人生を賭けて生涯を賭けて町と共に頑張っていきたいなと思っています。町民の立場からこの計画実行に向けて微力ながら参加させていただきたいと思いません。</p>
西川会長	<p>一年半に渡りまして、色々な方々と出会い、そして、遠慮なくお互いにものを言い、今日まで素晴らしい体験をさせていただき光栄に思っています。</p> <p>私の仕事はお寺の僧侶でありまして、お寺を背負って須賀川に行ったり、郡山に行くことはできない。地域と全くの運命共同体であります。お檀家さんの喜びを自分の喜びとしたい。あるいは、生まれたこの石川の方々の喜びを自分の喜びとしたい。悲しみを自分の悲しみにしたい。そのような絆の深い深い地域にしていかなければならないに思っております。</p> <p>町当局には、色々審議の経過の中で耳に痛いようなことを申し上げたようなことがあったかとは思いますが、これもまたこの町を少しでもより良く、そして子供たちが胸を張って「オレげの町は」と言えるところにしたい、そのような思いで発言をさせていただきました。申し訳ないことが沢山あったかとは思いますが、お許しいただきたいと思っています。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>
高原教育長	<p>本日は非常に重要な会議ということで出席させていただきました。審議会にも出席をさせていただきました。教育に関するお話をさせていただきました。</p> <p>先程、会長さんから、分野別の意見の中で特に「ふるさといしかわ人づくりプロジェクト」に掲げた「子どもたちにとって、いしかわで育ち、いしかわで学べたこと」このことが誇りだ。つまり石川に生まれて石川の教育を受けたことが今日の私があるというように、世界中どこに行っても誇れるような石川の教育をしていきたいというのが、私の考えでございます。</p> <p>教育は非常にお金のかかるものでもありますけれども、今これから、知識基盤型の社会の中で生きる子供たちに、やはりそれ相応の力を付けてやるのには、熱くなかったらできない。私はそう信じております。お金がないんだからできないなんて言うことではなくて、お金がなかったら何ができるかっていうことを今、正直言って考えております。</p> <p>極端なことを申し上げますが、折角頂きました答申の中で、特に、子供に対する責任</p>

	<p>は、大人の責任、行政の責任がある。教育があるから私どもが在る。そういうことをじっくり考えて、今後とも皆さんから答申を頂きましたことについて、本気になって、この子どもたちの想いを永遠に繋いでいくために頑張っていこうというように思っております。</p> <p>基本は、どんなことでもその子に合うような、その子に最も適した教育が受けられるということが、具体的には石川の教育を受けて良かったことになるのだろうと思っております。</p> <p>どうか今後とも皆様方のご支援、ご指導をよろしくお願いをしたいと思います。本当にありがとうございました。これからもまた頑張っていきたいと思っております。</p>
矢内副町長	<p>日頃から大変お世話になっております。また、委員の皆さんにはいつも大変お疲れの中で今頃の時間に数多くのお時間を費やしていただきまして、ご審議を頂きましたことに対して篤く御礼を申し上げたいと思います。</p> <p>今、地方はまさに大変な状況にあるということは共通の認識でございますが、私はお金だけではないのかなと思っております。それで今回の5総の中での基本的な考えというのは、今この石川町に住んでいる方の満足度をどういうふうに考えていったらいいのか。これが大きな課題だろうと考えている訳であります。</p> <p>町には見直せば身近にたくさん資源がありますので、これらを皆さんでもう一度見直し、活用していけば、もっともっと活力あるまちづくりが広がるんじゃないかと考えている訳であります。</p> <p>そのためには、行政が一方向的に自ら計画をするばかりでなく、プラン作りの段階から町民の皆さんに参画していただければ、もっと別な形になるのではないかと思っております。</p> <p>第5次総合計画を、なんとか形にしていくよう全力で取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後ともいろんな忌憚のない率直な御意見を頂ければと思っております。</p> <p>本当に長期間お疲れ様でございました。</p>
加納町長	<p>本当にありがとうございました。</p> <p>この二日ばかり、大阪、名古屋、東京などに行ってまいりました。色々な方々とお会いして、お話をしてまいりました。東大阪に行ったときには「加納さん。なんでそんなに本気になるの？」なんて言われました。私は石川町の町長になりまして2年とちょっとになります。自分の生涯の最後の生きがいとして、とことんやろうと。そのためには、協力を得たい。中途半端じゃないんです。本気だということお話ししてきました。</p> <p>先程、委員の皆さんからお話がありましたように、中途半端じゃなくて、私は石川町の町長が加納にやらせて本当に良かったな、と言われるような町政を必ずやりたい。そういうのが私の本音にあるんです。ですから多少の問題が生じようとも、そんなこといちいち気にすることなく、大道に立って自分の想いを町民の皆さんに訴え続けて、また、今日も県の理事の方にもいらしていただいたのですが、私はとことん本気なんだ。どんなことがあってもやり遂げるんだ。という私の信念は貫きたいと思っております。</p> <p>今回、皆様方の貴重な提言を頂きましたので、私は皆さん方の意見を尊重しながら、自信を持って町政を担当してまいりたいと考えております。</p>

